【第４次　１２時間目／全１４時間】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　担当　　石塚　智久

（１）本時のねらい

　　　　佐野藤三郎の働きについて，亀田郷地域センターについて調べることを通して，藤三郎が都市と農村が調和するまちづくりを目指していたことや，業績が高く評価されたことをとらえることができる。

（２）本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 教師の働き掛けと予想される児童の反応 | 資料と留意点 |
| １　亀田郷地域センターの活動について知り，学習課題を設定する。  （１５分） | Ｔ１　稲刈りの写真です。気付いたことはありますか？  Ｃ１　大勢の人が稲刈りしている。大人も子どももいる。  Ｃ２　機械を使わず，みんな手で作業している。  Ｔ２　地域の人が集まった「稲刈り体験交流会」の様子です。「亀田郷地域センター」が計画しました。亀田郷地域センターは，1975年に佐野さんが中心となり作った組織です。  Ｃ３　亀田郷地域センターはなぜこんなことをするのかな。  Ｃ４　稲刈りの他にも，何か仕事をしているのかな。  Ｃ５　佐野さんは，なぜ亀田郷地域センターを作ったのかな。  Ｔ３　亀田郷地域センターはどんな仕事をしていますか。  Ｃ６　「地域づくり」と書いてある。亀田郷をよくする取組をしているんじゃないかな。  Ｃ７　「人づくり」と書いてある。亀田郷に住む人の立場で考えて何かするんじゃないかな。  Ｔ４　亀田郷地域センターは，農家はもちろん，亀田郷に住む人たちのためにいろいろなことをしているようです。佐野さんはなぜそんな組織を作ったのでしょう？   |  | | --- | | 佐野藤三郎は，なぜ亀田郷地域センターを作ったのだろう。 | | ○写真「亀田郷地域センター稲刈り体験交流会」を見せる。  ○資料「亀田郷地域センター構成図（部分改）」を提示し，センターの主な働きを読み取らせる。 |
| ２　亀田郷の生活様式の変化に対する佐野の問題意識を知り，佐野が都市と農村の調和が重要と考えていたことを読み取り，まとめる。  （２０分） | Ｔ５　「亀田郷の人口・農地変化」から，どのようなことが言えますか。  Ｃ８　人口の変化を見ると，農家じゃない人がすごく増えた。  Ｃ９　農地の変化から乾田化したのに田んぼが少なくなった。  Ｃ10　農家じゃない人が増えて田んぼが家に変わったから，みんなで地域をよくしようと考えたのかな。  Ｔ６　佐野さんは，亀田郷に住む人や生活の仕方が変わったことで，いろいろな問題が起きると考えました。  　・家が増えて農業のための排水では間に合わない。  　・家庭の排水で水がよごれ，環境が悪くなる。  　・生活のための道路や学校，病院などが必要になる。  　・田んぼや畑が小さくなったりばらばらになったりする。  　・農業をやめる人たちが出てくる。  　　　この問題と亀田郷地域センターの活動とを関連付けて答えを考えましょう。  Ｃ11　亀田郷の暮らしが変わったからセンターを作った。  Ｃ12　都会のくらしと農家の仕事のバランスを取ろうとした。  Ｃ13　亀田郷のみんなが農業を大事に思う取組を進めた。   |  | | --- | | 佐野藤三郎は，農家だけでなく，亀田郷に住むすべての人が住みやすく，ゆたかにくらせる亀田郷をつくろうとした。 | | ○佐野の思いを予想させた後，資料「亀田郷の人口・農地変化」を提示する。  ○佐野が考えた亀田郷の課題を短冊で提示する。「亀田郷地域センター構成図」と関連付けて考えさせる。 |
| ３　佐野の功績が認められ，農林水産大臣賞等を受賞したことを知り，学習の振り返りをする。（１０分） | Ｔ７　佐野さんは，生涯にわたってたくさんのすばらしい賞を受賞しました。その理由はなぜでしょう。  Ｃ14　亀田郷を乾いた田んぼにしたから。  Ｃ15　農家もそうでない人も住みやすい亀田郷を作ったから。  Ｃ16　中国を助けて，国際交流もしたから。  Ｔ８　学習の振り返りをノートに書きましょう。 | ○資料「佐野藤三郎年表」から受賞歴を確かめ，功績が高く評価されたことに気付かせる。  ○映像⑬「ダイヤモンド賞受賞」を視聴させる。 |